

平成27年度事業執行状況報告書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

平成27年度の事業については、事業計画に基づいて、職業能力開発推進事業と職業能力検定等の実施及び技能まつりなどを開催して、労働者の職業能力開発向上を図るとともに技能尊重の気運の高揚に努めた。特に、山梨県立中小企業人材開発センターの運営は、自主講座の開設、教育訓練への教室の貸し出し等の事業を重点的に展開し、概ね順調に進展している。

1. 総会及び役員会

(1) 第37回通常総会の開催

平成27年5月20日(水)午後2時から、山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、会員数331のところ委任状提出者を含めた248名で次の案件を審議し、原案どおり可決又は承認された。

1) 平成26年度事業執行状況報告に関する件

2) 平成26年度収支補正予算及び決算に関する件

平成26年度一般会計収支決算

平成26年度一般会計備品等購入積立金特別会計収支決算

平成26年度退職手当積立金特別会計収支決算

平成26年度認定職業訓練特別会計収支決算

平成26年度認定職業訓練備品等購入積立金特別会計収支決算

平成26年度コンピュータサービス技能評価特別会計収支決算

平成26年度山梨県立中小企業人材開発センター運営管理特別会計収支決算

平成26年度キャリア支援企業創出促進事業特別会計収支決算

平成26年度若年技能者人材育成支援等事業特別会計収支決算

平成26年度財政調整積立金特別会計収支決算

監査報告

剰余金の処分について(案)

3) 平成27年度事業計画(案)に関する件

4) 平成27年度収支予算(案)に関する件

平成27年度一般会計収支予算(案)

平成27年度一般会計備品等購入積立金特別会計収支予算(案)

平成27年度退職手当積立金特別会計収支予算(案)

平成27年度認定職業訓練特別会計収支予算(案)

平成27年度認定職業訓練備品等購入積立金特別会計収支予算(案)

平成27年度コンピュータサービス技能評価特別会計収支予算(案)

平成27年度山梨県立中小企業人材開発センター運営管理特別会計収支予算(案)

平成27年度キャリア支援企業創出促進事業特別会計収支予算(案)

平成27年度若年技能者人材育成支援等事業特別会計収支予算(案)

平成27年度財政調整積立金特別会計収支予算(案)

5) 役員の変更に関する件

(2) 理事会の開催

第1回理事会を平成27年4月22日(水)午後2時から、山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、組織数36のところ委任状提出者を含め35名により、第37回通常総会に提出する議案及び新規加入会員の承認を審議し、原案どおり承認された。

2) 第2回理事会を平成28年1月21日(木)午後4時から、岡島ローヤル会館において開催し、組織数36のところ委任状提出者を含め31名により、平成27年度事業執行状況、収支補正予算、平成28年度事業計画(案)、収支予算(案)及び新規加入会員について審議し、原案どおり承認可決された。

(3) 常任理事会の開催

第1回常任理事会を平成27年10月22日(木)午後2時から、山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、第36回山梨県職業能力開発関係表彰式における会長表彰の被表彰者の選考を行った。

(4) 監事会の開催

平成27年4月13日(月)午後2時から、山梨県立中小企業人材開発センターにおいて平成26年度事業執行状況及び平成26年度収支決算について、監事により監査が行われた。

その結果、事業執行及び会計事務等は正確かつ適正に処理されていることが確認され、その状況が第37回通常総会において報告された。

2. 会員の加入状況

会員の3月末現在の状況は、次のとおりである。

会員の区分	会員数	前年度 末数	比較 増減	増減内訳	
				入会	退会
特別会員	8	8	0	0	0
正会員	325	323	2	5	-3
認定職業訓練会員	20	20	0	0	0
団体会員	53	54	-1	0	-1
企業会員	252	249	3	5	-2
合計	333	331	2	5	-3

3. 職業能力開発推進事業の実施状況

(1) 職業訓練指導員講習(48時間講習)の実施

職業訓練指導員養成のための48時間講習を1回実施して、25名が修了した。

(2) 企業内教育訓練に講師派遣

企業内における従業員の教育訓練について、要請に応じて管理監督者訓練等に講師を次のとおり派遣した。

監督者訓練 24コース 465人

コース名	コース	受講人員	コース名	コース	受講人員
管理訓練計画	2	55	中堅社員	2	12
問題解決向上	2	15	接遇訓練	8	227
仕事の教え方	2	15	新入社員訓練	5	119
人の扱い方	2	17	安全作業のやり方	1	5

(3) 普通職業訓練の実施

職業訓練の認定を受けて、一般社員・管理監督者、パソコン技法、資格取得等の講習会を次のとおり実施した。

一般社員講座	12	コース	受講者	144	人
管理監督者講座	4			25	人
パソコン講座	8			83	人
資格取得講座	3			21	人
計	27			273	人

(4) 関東甲信越職業能力開発協会連絡会議への参加

新潟県が担当県となり、職業能力検定・職業能力開発を推進するうえの諸問題等について、下記により研究討議を行った。

◇第58回

日時 平成27年9月28・29日

場所 新潟市「新潟東映ホテル」

出席者 総数 30名

(5) 平成27年度職業能力開発関係表彰式

職業能力開発促進月間の11月20日(金)午後1時30分から東京都港区「明治記念館」において、厚生労働大臣及び中央職業能力開発協会会長表彰が行われました。

県内関係者では、次の方々が表彰の栄誉を受けられました。

(厚生労働大臣表彰)

- ・卓越した技能者 清水 幸雄氏
- ・技能検定関係事業所 テルモ株式会社甲府工場
- ・技能検定関係功労者 齊藤 基樹氏 浅川熱処理株式会社

(中央職業能力開発協会会長表彰)

- ・ 職業能力開発事業関係功労者 広瀬 和雄 山梨県建設組合連合会職業訓練校
- ・ 技能検定関係事業所 中家製作所株式会社
- ・ 都道府県技能検定委員関係功労者 窪田 治雄氏

(6) 職業能力開発推進者講習及び経験交流プラザの開催

厚生労働省の重点施策であるキャリア形成支援の知識取得が目的の職業能力開発推進者講習を2回開催した。

1回目は、面談能力向上が目的の「導入レベルのキャリア・コンサルティング講習」を9月11日、17日の2日間、石川邦子氏を講師に参加者26名で開催した。

2回目は、「評価と賃金制度セミナー」を10月8日、9日の2日間、両宮隆浩氏、古谷双功氏の両氏を講師に参加者24名で開催した。

経験交流プラザは運営委員会で検討し、平成28年2月16日(火)に開催することになった。今年度は、「個人とチームの成長で組織活性化」をメインテーマに掲げ、本間・一ノ瀬両氏(東北テクトロン株式会社)による「個人からチームへ～震災危機を乗り越える～」をテーマの企業事例講演と、藤井正隆氏(株式会社イマージョン代表取締役)による「社員とチームをもっと元気にするチームマネジメント」をテーマの講演を行い、さらに、講演内容と関連づけた「グループディスカッション」の3部構成で開催した。(参加者69名)

(7) キャリア形成促進助成金の普及啓発

キャリア形成促進助成金の利用の拡大を図るため、労働局や地域ジョブ・カードセンターとの連携を取り、企業訪問及び各種イベント等に出向き、その普及啓発に努めた。

(8) 職業能力開発推進者の選任

企業内での人材育成の推進役である職業能力開発推進者の選任については、あらゆる機会を据え選任の依頼を行うとともに、企業の実情に合わせて変更届の提出依頼をし、職業能力開発推進者の選任に努めた。

平成27年度新規に選任された推進者は128名、累計では企業数は1,350社、職業能力開発推進者数は1,454名が登録されている。

(9) ものづくり講座の開催

地域住民へのサービスを目的に、生活にいかせる技能を習得するための「松のミドリ摘み教室」、「松の手入れ教室」、「ふすまの張り替え教室」、「シュロ縄の結び方教室」、また、親子を対象とした「竹馬づくり」、「クリスマスリース」、「正月かざり」を実施した。

講座には、県内各地より75名が参加し、講師の指導のもとで熱心に実技講習に取り組んだ。

4. 職業能力検定事業の実施状況

(1) 県が公示した平成27年度技能検定実施計画に基づいて、受検申請を受け付けた。

その結果、前期は41職種56作業に、後期は65職種72作業、前・後期合わせて86職種110作業に及んだ。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	基礎	計	26年度	比較増減
前期	受検者		231	0	320	355	122	1,028	1,022	6
	合格者		91	0	146	271	119	627	667	-40
	合格率		39.4	0	45.6	76.3	97.5	61.0	65.3	-4.3
後期	受検者	54	125	10	173	296	148	806	945	-139
	合格者	5	47	8	85	209	144	498	491	7
	合格率	9.3	37.6	80.0	49.1	70.6	97.3	61.8	52.0	9.8
計	受検者	54	356	10	493	651	270	1,834	1,967	-133
	合格者	5	138	8	231	480	263	1,125	1,158	-33
	合格率	9.3	38.8	80.0	46.9	73.7	97.4	61.3	58.9	2.4

- (2) 学科試験は、全国統一実施日として、前期が7月19日、8月23日、8月30日、9月6日の各日曜日に実施し、後期は、平成28年1月24日、1月31日、2月7日の各日曜日に実施した。
その状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	基礎	計	26年度	比較増減
前期	受検者		179	0	271	340	119	909	888	21
	合格者		115	0	165	287	119	686	691	-5
	合格率		64.2	0	60.9	84.4	100.0	75.5	77.8	-2.3
後期	受検者	54	91	8	130	285	144	712	795	-83
	合格者	5	59	7	83	245	143	542	532	10
	合格率	9.3	64.8	87.5	63.8	86.0	99.3	76.1	62.0	14.1
計	受検者	54	270	8	401	625	263	1,621	1,683	-62
	合格者	5	174	7	248	532	262	1,228	1,223	5
	合格率	9.3	64.4	87.5	61.8	85.1	99.6	75.8	72.7	3.1

(3) 実技試験の実施状況

実技試験は、前期が6月下旬から9月上旬までの間に実施し、後期は1月中旬から2月中旬にかけて実施した。
その状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	基礎	計	26年度	比較増減
前期	受検者		197	0	278	352	122	949	945	4
	合格者		90	0	158	295	119	662	683	-21
	合格率		45.7	0	56.8	83.8	97.5	69.8	72.3	-2.5
後期	受検者	27	113	9	157	270	148	724	827	-103
	合格者	18	46	7	85	221	146	523	501	22
	合格率	66.7	40.7	77.8	54.1	81.9	98.6	72.2	60.6	11.6
計	受検者	27	310	9	435	622	270	1,673	1,772	-99
	合格者	18	136	7	243	516	265	1,185	1,184	1
	合格率	66.7	43.9	77.8	55.9	83.0	98.1	70.8	66.8	4.0

(4) 技能五輪山梨県大会の実施状況

技能五輪は、職業訓練の振興と青年技能者の国際交流と親睦を図ることを目的として開催されている。
山梨県大会は、全国大会に派遣する選手を選抜する予選として実施している。
大会は、技能検定実技試験と併せて行い、一定水準の成績をおさめた者には技能証が、交付された。
その実施状況は、次のとおりである。

区分	予選参加者数	技能証該当者	技能証交付数
前期	52	1	1
後期	5	0	—

(5) 実技試験水準調整会議の実施

技能検定実技試験の円滑な運営実施を図るための水準調整会議は、技能検定委員の委嘱とともに、実施計画の日程調整を兼ねて、前後期の受検申請者確定後に採点基準や事前準備等について打ち合わせ会を開催した。

(6) コンピュータサービス技能評価試験の実施

パソコン及びワープロの操作能力を評価し、技能習得意欲を増進させるとともに、社会一般の評価を高め、この業務に従事する人々の社会的、経済的地位の向上を図ることを目的として、中央職業能力開発協会を中心に全国的に実施しているものである。

試験方法は、実際に機器を操作して問題を処理する実技試験を行い、昭和61年度から認定校制度を設けて実施している。

本年度認定施設(15施設)では、5月から平成28年3月にわたり実施した。

その実施状況は、次のとおりである。

区分	ワープロ部門			表計算部門			データベース部門		
	受験者 人	合格者 人	合格率 %	受験者 人	合格者 人	合格率 %	受験者 人	合格者 人	合格率 %
1級	0	0	0	17	3	17.6	0	0	0
2級	15	12	80.0	18	15	83.3	0	0	0
3級	90	80	88.9	84	79	94.0	7	6	85.7
計	105	92	87.6	119	97	81.5	7	6	85.7

申請者総数
231人

(7) CADトレース技能審査試験の実施

CADトレース業務に従事する者の有する職業能力の程度を評価することにより、技能の向上及び社会的・経済的地位の向上を図ることを目的として、中央職業能力開発協会を中心に全国的に実施しているものである。

試験方法は、実技試験と学科試験の総合評価により行い、本県では平成20年度から協力施設が中央職業能力開発協会より認定を受けて前・後期で実施している。

前期試験は、平成27年9月12日(土)、13日(日)に実施し、後期試験は平成28年2月13日(土)、14日(日)に実施した。 受験状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	機械部門			建築部門		
		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
前期	上級	0	0	0	0	0	0
	中級	5	4	80.0	0	0	0
	初級	8	3	37.5	1	1	100
	計	13	7	53.8	1	1	100
後期	上級	0	0	0	0	0	0
	中級	9	3	33.3	1	1	100
	初級	9	1	11.1	1	1	100
	計	18	4	22.2	2	2	100
計	上級	0	0	0	0	0	0
	中級	14	7	50.0	1	1	100
	初級	17	4	23.5	2	2	100
	計	31	11	35.5	3	3	100

申請者総数
34人

5. 山梨職業能力開発サービスセンター事業 (キャリア支援企業創出促進事業)

企業の行う人材育成、能力開発等について、人材育成コンサルタント2名、キャリア形成サポーター1名、開発アドバイザー1名、の体制にて相談援助、情報の収集及び提供等の事業を実施し、業務の推進を図っている。

(1) 下記を対象に制度の啓蒙を行った。

- ア 職業能力開発推進者
- イ 山梨県職業能力開発協会会員
- ウ 県内の企業・業界団体
- エ 講習会受講者、人材開発センター利用者

(2) 企業等を訪問し、能力開発のプランづくりや実施、キャリア形成支援、各種給付金制度の利用についての相談・助言及び各種情報の提供等を行った。

- (3) 教育研修用ビデオテープ/DVD(所有数221巻)の無料貸出しは、新入社員研修用、安全活動研修用での利用が多く、全体の65%を占めている。
平成27年度の貸出し状況は、次のとおりである。

79社 311巻

- (4) 時代のニーズに的確に応える情報を提供するために、「JAVADA情報マガジン」を定期的にメールで配信して、キャリア形成に関する情報の提供を行った。

本県のメールマガジン読者数は、職業能力開発推進者を中心に446名である。

- (5) 関係機関と連携して、山梨テクノICTメッセ2015などに参加し、年間延べ9日間で移動相談を実施して26件の企業と個人に対し、キャリア形成支援や助成金制度などの相談・助言及び説明を行った。

- (6) 平成27年度の業務実施状況は、次のとおりである。

イ) 件数

来所	電話等	訪問	移動相談	キャリア診断	個別面談	合計
92	38	491	26	1	44	692

ロ) 分野別 指導助言・情報提供件数 (件)

区 分	指導助言・情報提供
1. 能力開発の進め方・プラン作り	2,150
2. 各種教育訓練施設の利用等	96
3. 各種能力開発給付金利用等	918
4. 能力開発に関する情報・提供	3,082
5. その他	962
合 計	7,208

6. 山梨県立中小企業人材開発センター事業

3月末現在の利用状況は、次のとおりである。(人)

区 分	利用延人員
職業訓練	33,743
技能検定	4,049
その他	15,393
合 計	53,185

利用率		
最高	9月	64.02%
最低	4月	30.07%
年 間		43.95%
利用日数		305日

7. 若年技能者人材育成支援等事業

若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基盤となる高度の技能を有する技能者の育成等が課題となっており、昨年度に引き続き、厚生労働省の委託事業として、山梨県内において事業展開をしている。県内で取り組んでいる事業は、次のとおりである。

(1) ものづくりマイスターを活用した事業

- ア. 若年技能者の人材育成に係る相談・援助 53 件
 イ. ものづくりマイスターの認定者数 14 人(累計 91 人)
 ウ. 実技指導の実施(延べ受講者数)
 (企業・業界団体:9社、工業高校等;8校) 1,782 人
 エ. 小中学校での「ものづくり講座・体験教室」の実施
 (印章:23校、造園:4校、フラワー:4校、大工:3校、塗装:2校) 1,561 人
 オ. マイスターに対する指導技法等講習の実施 5 人

(2) 地域における技能振興事業

- ア. 熟練技能者による実技指導(延べ受講者数) 343 人
 イ. 技能まつりでの「ものづくり体験コーナー」の実施:19団体 2,872 人
 ウ. 技能五輪全国大会見学ツアーの開催
 (5コース設定、各コースバス1台) 140 人
 エ. 技能五輪全国大会への参加選手等への援助 2 職種、3人

(3) 連携会議の開催

2 回

8. 第36回山梨県技能まつりの開催

第36回山梨県技能まつりは、11月の職業能力開発促進月間行事の一環として、また、県民の日の記念行事に協賛して、県、当協会及び県技能士会連合会の三者共催により、11月14日(土)～15日(日)、小瀬スポーツ公園を会場として開催した。次のような盛りだくさんの催しに、多数の県民が参加して賑わった。

(1) 技能士及び訓練生の作品展示即売会

技能士によるものは、簡易ロケットストーブ、椅子、表札、まな板等の製品と、貴金属装身具製品、漆塗製品、カーテン生地、石の小物等、多数の作品展示即売され、廉価で即売されたこともあり好評を得た。

訓練生の作品は、公共訓練校の生徒による衣料品、木工製品など多数が出品され、これも低価格で販売されたため、多くの来場者が買い求めた。

(2) ものづくりコーナーの開設

各技能士会を中心とした「ものづくり体験事業」に、22団体がコーナーを設け、親子が技能士の指導の下「ものづくり」に挑戦した。

使い慣れないカナヅチや釘を使い、本立て、スノコ、キーホルダーづくりなどに取り組み、苦心して完成させた作品を満足げに持ち帰る姿が印象的であった。

各団体の実施内容及び体験者数は、次のとおりである。

・全建総連山梨県連技能士会 (木製本立てづくり)	228 人
・内装仕上げ施工技能士会 (砂絵教室)	190 人
・畳技能士会 (ミニ畳づくり)	160 人
・鋼製下地ボード貼り技能士会 (伝言ボードづくり)	60 人
・左官技能士会 (焼き石膏による手形づくり)	180 人
・造園技能士会 (竹馬づくり)	10 人
・建築板金技能士会 (イラストプレート作り)	200 人
・建具技能士会 (浴室スノコづくり・箸作り)	220 人
・印章彫刻技能士会 (印章篆刻体験)	156 人
・石材技能士会 (表札・インテリア小物作り)	100 人
・上野原市建築技能士会 (巣箱づくり)	50 人
・富士吉田建設技能士会 (ミニ家づくり)	100 人
・表具内装技能士会 (万華鏡づくり)	185 人
・建築塗装技能士会 (カッティングシートでの切り絵づくり)	100 人
・貴金属装身具技能士会 (シルバーコインのストラップづくり)	100 人
・路面標示施工技能士会 (パズル体験)	100 人
・和服裁縫組合(ボックスティッシュづくり)	133 人
・日本調理技能士会(調理体験)	100 人
・フラワー装飾技能士会(フラワーケーキ体験)	90 人
・山梨職業訓練支援センター (キーホルダーづくり)	653 人
・自動車整備振興会 (ぬりえ体験)	105 人
・全技連マイスター山梨県支部(木箱づくり・木製本立て)	55 人
合計	3,275 人

(3) その他、

職業能力開発等に関するチラシを配布するなど、県民に技能の大切さをアピールした。

9. 山梨県職業能力開発関係表彰式

職業能力開発促進月間の行事の一つとして、11月26日(木)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて、技能者表彰、職業訓練功労者表彰、優良指導員・優良訓練生表彰等の知事表彰、協会長表彰、山技連会長表彰等の各種表彰が行われた。

10. 第10回若年者ものづくり競技大会への選手派遣

第10回若年者ものづくり競技大会は平成27年8月5日から6日までの間、山形県滝沢村「岩手産業文化センター」を中心として、全国から20歳以下者が、14職種に313名が参加して技能競技が実施された。(本県参加者なし)

11. 第53回技能五輪全国大会への選手派遣

第53回技能五輪全国大会は平成27年12月4日から12月7日までの間、千葉県「幕張メッセ」を中心として、全国から青年技能者が41職種に1,183名が参加して技能競技が実施された。

本県からは、とび職種に1名、日本料理職種に2名、旋盤職種に1名の合計4名を派遣したが、残念ながら入賞にはいたらなかった。

12. その他

会報「山梨の能力開発」No.73・No.74を発行配布した。